

受験
番号

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

2020 年度

第 5 回 会社決算書アナリスト試験

問題用紙

(試験時間 1 時間 30 分)

—受験者への注意事項—

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙は開かないでください。
2. 解答は、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに記入してください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。
4. 受験番号は、右寄せで記入してください。受験番号を記入していない場合は、採点の対象とならない場合があります。

数値計算上の注意！

1. 各指標について、数値は、算出結果のみを解答すること（計算式は不要）。
2. 答は、小数点が出ない場合には、そのまま答え、小数点が出た場合には、最終数値の小数点第 2 位を四捨五入し、第 1 位までを解答すること。例えば、9.46% の場合は、「9.5%」、10.34 回の場合には「10.3 回」と解答すること。
3. マイナスの場合には、数値の前に「△」をつけること。例えば、マイナス 9.5% の場合には、「△9.5%」と解答すること。損失の場合も同じく、△をつけ、利益の場合にははつけない。

第1問

次の1. から10. の文章について、正しいものには○を、誤っているものには、×を記入しなさい。

1. 企業の評価方法として趨勢分析と企業間比較分析を比較すると、当該企業が成長状態にあるかそれとも衰退状態にあるかを判断するためには趨勢分析の方が適格的である。
2. 商工業などの一般的な企業において、借入金を流動と固定に区分するのは、営業循環基準による。
3. 棚卸資産回転率が良くなった場合、売買目的有価証券の減少もその原因となる。
4. 当期の支払配当金額は、株主資本等変動計算書を見れば分かる。
5. これまで現金売りを主としてきた小売業がカード決済制度を導入すれば、(これに見合う売上高の増加はなく、仕入政策も変わらないとき) 売上債権対仕入債務比率は高くなる。
6. デパートなど高級品を扱う企業とスーパーマーケットのような薄利多売の企業の売上高売上総利益率(粗利率)を比較すると、デパートの方がスーパーマーケットより高い(良い)数値を示すのが一般的である。
7. 総資産負債比率が高まれば、純資産負債比率は低くなる。
8. 投資活動によるキャッシュ・フローがマイナスになった場合、その貸借対照表への影響の可能性の一つとして、店舗など有形固定資産の減少が考えられる。
9. 当期純利益キャッシュ・フロー比率は、現金及び現金同等物の増減額を当期純利益で割った指標であり、パーセントで示される。これにより、当期純利益の(当期の企業活動による)資金的裏付けを確認できる。
10. 業績にかかわらず配当金を一定の金額に固定する安定配当策を取っている場合、利益が低くなれば、配当性向は高くなる。

第2問

<資料>に示した損益計算書(X株式会社:小売業)により、次の問1から問3に答えなさい。なお、会計期間は1年間であり、当期は(X2年度)X2年4月1日に始まりX3年3月31日に終了する1年間である。数値の解答にあたっては、表紙に示した「数値計算上の注意!」に従うこと。

問1 X社の前期と当期の総資産当期純利益率(ROA)を計算しなさい。続いて、この結果を受けて当期の収益性を判断したものと適切な選択肢を、○で囲みなさい。なお、分析に使用する貸借対照表データは、以下の通りである。

| | X0 年度末 (3月31日) | X1 年度末 (3月31日) | X2 年度末 (3月31日) |
|------|----------------|----------------|----------------|
| 資産合計 | 8,270,670 千円 | 10,392,500 千円 | 17,341,960 千円 |

問2 問1の結果について、変化の要因を分析するため、さらに指標計算を展開していくことにした。回転率は前期、当期ともに約1.1回であり大きな差がみられなかったことから、利益率に関する指標を計算していく。当期の①総収益当期純利益率、②経常収益経常利益率、③売上高営業利益率、④売上高売上総利益率を求めなさい。なお、①から④の各指標について、前期の計算結果は、解答用紙に示している。

問3 損益計算書の区分からもわかるように、企業活動は、(ア) 営業活動、(イ) 営業外の活動、および(ウ) 臨時的・特別な要因(特別損益)の3つに分けられる。問1で下した当期の収益性についての判断は、(ア)(イ)(ウ)のどれが最も大きな要因になるか。問2の利益率の展開結果をもとに考え、該当する記号を、1つ選び、○で囲みなさい。また、具体的にどのような企業活動が変動をもたらした原因と考えられるかについて、損益計算書の項目を参考に判断し、1つ、簡潔に記述しなさい。

損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (X1年4月1日-X2年3月31日) | 当事業年度 (X2年4月1日-X3年3月31日) |
|--------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 売上高 | 9,359,167 | 14,708,202 |
| 売上原価 | 3,316,037 | 5,206,702 |
| 売上総利益 | 6,043,130 | 9,501,500 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売促進費 | 497,931 | 897,145 |
| 給料 | 629,873 | 661,314 |
| 賞与引当金繰入額 | 14,017 | 9,392 |
| 減価償却費 | 261,189 | 272,295 |
| 業務委託費 | 1,629,743 | 1,878,000 |
| 広告宣伝費 | 557,693 | 3,183,822 |
| その他 | 1,300,548 | 1,671,847 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 4,890,994 | 8,573,815 |
| 営業利益 | 1,152,136 | 927,685 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 260 | 110 |
| 受取配当金 | 160 | 210 |
| 為替差益 | 16,018 | 25,939 |
| 開発費負担金受入額 | 5,833 | 18,247 |
| 投資有価証券償還益 | 2,745 | 102 |
| その他 | 900 | 2,046 |
| 営業外収益合計 | 25,916 | 46,654 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,539 | 5,277 |
| 匿名組合投資損失 | 100 | 785 |
| その他 | 7 | 94 |
| 営業外費用合計 | 5,646 | 6,156 |
| 経常利益 | 1,172,406 | 968,183 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 570,292 | 110,742 |
| 新株予約権戻入益 | 985 | 12,300 |
| 特別利益合計 | 571,277 | 123,042 |
| 特別損失 | | |
| 前渡金評価損 | 12,062 | 6,100 |
| 抱合せ株式消滅差額 | 20,988 | 6,200 |
| 特別損失合計 | 33,050 | 12,300 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,710,633 | 1,078,925 |
| 法人税・住民税及び事業税 | 509,881 | 628,025 |
| 法人税等調整額 | 1,065 | △ 282,598 |
| 法人税等合計 | 510,946 | 345,427 |
| 当期純利益 | 1,199,687 | 733,498 |

第3問

コロナウイルス対策で営業自粛が求められる中、N株式会社（小売業）の経理部長に、今年（X1年）の3月から就任したあなた（Aさん）は、＜資料1＞の貸借対照表と＜資料2＞の損益計算書に基づいて、社長と今後の会社経営の見通しを話し合っている。この対話の中の（①）から（⑩）に入る数値を書き入れなさい。数値の解答にあたっては、表紙に示した「数値計算上の注意！」に従うこと。

＜資料1＞

貸借対照表

X1年3月31日

(単位:万円)

| 資産： | | 負債： | |
|----------|--------|-------------|--------|
| 流動資産 | | 流動負債 | |
| 現金及び預金 | 2,200 | 買掛金・支払手形 | 970 |
| 売掛金・受取手形 | 420 | 借入金 | 2,000 |
| 棚卸資産 | 3,500 | その他 | 700 |
| その他 | 760 | 流動負債合計 | 3,670 |
| 流動資産合計 | 6,880 | 固定負債 | |
| 固定資産 | | 長期借入金 | 7,500 |
| 有形固定資産 | 9,600 | その他 | 280 |
| 無形固定資産 | 2,400 | 固定負債合計 | 7,780 |
| 投資その他の資産 | 1,070 | 負債合計 | 11,450 |
| 固定資産合計 | 13,070 | 純資産： | |
| | | 株主資本 | 8,450 |
| | | その他の包括利益累計額 | 50 |
| | | 純資産合計 | 8,500 |
| 資産合計 | 19,950 | 負債純資産合計 | 19,950 |

* X0年4月1日の貸借対照表における株主資本の金額は 8,300万円であった。したがって、年間利益 684万円であるから、ROEは8%になる。

<資料2>

損益計算書

(単位：万円)

| [過去1年間の1ヵ月平均数値] | 〈修正率〉 | [4月(自粛後の)予想金額] | | |
|-----------------|-------|----------------|-------|-------|
| | | A案 | B案 | |
| 売上高 | 2,400 | ×0.6 | (⑤) | (⑤) |
| 売上原価 | 1,600 | ×0.6 | (⑥) | (⑥) |
| 売上総利益 | 800 | | 480 | 480 |
| 販売費及び一般管理費 | | | | |
| 給料 | 280 | | 280 | 160 |
| 内訳： 正規労働者分 | 160 | | | |
| 非正規労働者分 | 120 | | | |
| 支払家賃 | 100 | | 100 | 100 |
| その他, 上記以外 | 330 | ×0.6 | (?) | (?) |
| 営業利益 (△は営業損失) | 90 | | (⑦) | (⑧) |
| 営業外収益 | 10 | ×0.6 | 6 | 6 |
| 営業外費用 | | | | |
| 支払利息 | 12 | | 12 | 12 |
| その他 | 30 | ×0.6 | 18 | 18 |
| 経常利益 (△は経常損失) | 58 | | △122 | (⑨) |
| 特別利益 | 5 | | 5 | 5 |
| 特別損失 | 6 | | 6 | 6 |
| 当期純利益 (△は当期純損失) | 57 ** | | △123 | △3 |

** 57万円×12ヵ月=684万円(年間利益)。ここでは税金の問題は考えない。

(?)は推定する。

社長 「A君よ。今度、コロナウイルス騒ぎで、当社も営業自粛が求められるようだから、会社経営への影響を考えなくてはならないね。まずは、倒産が怖いので、貸借対照表(＜資料1＞)で我が社の財務状態の現状をみてくれないか。」

Aさん 「それでは、財務状態をみる基本的な2つの指標をみてみましょう。流動比率は(①)%、総資産負債比率は(②)%になりますね。ところで、社長。私が前々から気になっていたことは、当社の総資産負債比率が高く、不安定ではないかという点です。」

社長 「それは、私がある研修会に参加して教えられた方針だったんだよ。ほら、ROE経営とかいって、8%を達成することが会社経営の目標とされただろう。現に、8%を達成しているじゃないか。不安定と言えば、当社の固定長期適合率は(③)%で問題はないのではないかな？」

Aさん 「しかし、社長、売上高支払利息比率は(④)%ですよ。この数値は業界の中では極めて高いですよ。0.01%位が業界平均ではないでしょうか。」

社長 「いずれにせよ、自粛を行ったときの利益予想を損益計算書(＜資料2＞)によって立ててみてくれないか。」

A さん 「当社の場合、費用を、店舗の家賃のような固定的なもの、動くものないし動かせるものに分けることが要点になりますね。それでは、大まかではありますが、自粛後の損益計算書を作成し、損益予想を試算してみましょう。」「まず、売上高が4割減つまり60% (修正率) となった場合には、(⑤) 万円になりますね。売上原価もこれに対応しますから、(⑥) 万円になり、売上総利益は480万円となります。次に、過去1年間の1ヵ月平均の販売費及び一般管理費710万円の内訳をみてみましょう。項目で比率が一番高いのが約4割の人件費で、次に1割超の家賃になります。これらは固定的だと仮定しましょう。いま、これ以外の費用は自粛活動に応じて60%になる^(注)ものとし、販売費及び一般管理費の金額は、578万円になり、営業損益は(⑦) 万円になります。これが **A案** で、これでは会社がもちませんよ。」

(注) 固定費として減価償却費があるが、これは支出をともなわないので、この問題では重視していない。

社 長 「うーん。どこか削れる費用はないかなあー。家賃は削れないし、人件費に手をつけるしかないね。非正規の方には、全員、休んでもらうしかないね。これを、 **B案** として試算してみてください。」

A さん 「確かに、営業損益は(⑧) 万円になります。しかし、経常損益は(⑨) 万円で依然として厳しいですよ。」「それから気になっているのが、非正規の人の扱いです。全員解雇では、この騒ぎが収まった後、人が集まるでしょうか。せめて1割残し、12万円とすると、給料が合計、172万円となり、営業損益はかろうじて(⑩) 万円になります。」「ただ、経常損益が△14万円になりますがね。利息の12万円は大きいですよ。」「私は、当時の時世に乗せられ、カッコいいとか思い、フリーターつまり非正規労働をしていました。このような状態になると、真っ先に影響を受けるのは、非正規労働者なのですね。幸い、私は、簿記の資格を取っていましたので、正規社員になれましたが、今、考えると、ゾ～とします。」

社 長 「うーん。経常利益を出すためには、約10万円の費用減少が必要ということか。なんとかならないかなあ。と言っても、利息だから減らすことはできないしなあ。」「アベノミクスの低金利策をいいことに、ROE経営とかいう時流に乗ってROEを8%にしようとして、借入を増やしすぎたかなあ。」

A さん 「最後に、社長、資金繰りの話でしたから、付け加えておきますと、事業活動が4割減ですから、現金預金も同じように、今の金額の60% (4割減少) になることも覚悟しておくべきですよ。他の資産負債の金額に変わりがないと仮定すると、当座比率は(⑪) %になってしまいます。これでは、資金繰りでも倒産の可能性がありますよ。」

社 長 「国の金融支援がないと、にっちもさっちも行かないなあ。」(ため息)

第4問 あなたは、お母さんとこれからの時代に備えた投資の相談をすることになった。以下の問1と問2について解答しなさい。数値の解答にあたっては、表紙に示した「**数値計算上の注意!**」に従うこと。

問1 次の会話の中の①～④に入る数値は、計算し、言葉は、適切な符号を選択し、解答しなさい。

問2 次の会話の中のa. およびb. に入る適切な符号を選択し、解答しなさい。

<資料> T社のデータ：有価証券報告書「第1【企業の概況】【主要な経営指標等の推移】」より。

下の会話のために必要と思われる部分を一部抜粋および値を計算しやすいように数値を丸めている。

| 回次 | 第○1期 | 第○2期 | 第○3期 |
|----------------|------------|------------|------------|
| 決算年月 | 2018年3月 | 2019年3月 | 2020年3月 |
| 売上高 (百万円) | 205,738 | 218,969 | 238,045 |
| 経常利益 (百万円) | 12,819 | 13,512 | 14,626 |
| 当期純利益 (百万円) | 8,947 | 10,777 | 9,522 |
| 資本金 (百万円) | 5,905 | 6,158 | 6,330 |
| 発行済株式総数 (株) | 49,534,816 | 50,841,016 | 51,289,616 |
| 1株当たり純資産額 (円) | 967 | 1,131 | 1,267 |
| 1株当たり配当額 (円) | 25 | 31 | 34 |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 183.46 | 217.71 | 190.75 |
| 株価収益率 (倍) | 7.7 | 11.6 | 10.5 |
| 配当性向 (%) | 13.6 | 14.2 | 17.8 |
| 最高株価 (円) | 1,979 | 3,025 | 2,882 |
| 最低株価 (円) | 1,064 | 1,358 | 1,920 |

お母さん 「今度、コロナ対策で10万円もらうのは得したように感じるけど、もともとは私達の税金でしょ。国の財政は借金まみれだから、もらったのではなく後から税金で取り返されるだけよね。また、老後2千万円必要という報告書も出たわよね。こうなったら、私達、自衛しかないわね。それに、お父さん、もうすぐ定年だし、年金も危ないわ。何とかしなければならぬわよね。」

あなた 「そうだよ、お母さん。いま、決算書アナリスト試験の勉強をしているので、株式投資について、一緒に考えようか。」「株に投資するには、投資先の会社の情報が必要だよ。ネットで、T社の有価証券報告書を調べたから、これを資料にして説明するよ。」

お母さん 「これは、今年の3月までの会社の報告ね。」

あなた 「お母さんは、投資するのだから、まず、利回りを計算しなければならないね。＜資料＞の第○3期の高値（最高株価）で買った時と安値（最低株価）で買った時の配当利回りを計算してみるよ。高値の時は（①）%、安値の時は（②）%になるね。」

お母さん 「えー、そんなになるの！ 私は投資といえば、定期預金しか頭になかったわ。今は、身近な銀行で、1年もので、利率0.002%でしょう。去年はそれでも、300,000円預ける^(注)と、30円の利子が付いたけれど、さらに利率が下げられたので、預金してえられるのは、もう1円単位の次元ね。あなたの言うように株式投資を勉強しなくちゃ。低金利政策というのは、私達庶民が我慢しながらコツコツ貯めた代償を銀行を通じて企業にあげているようなものなのね。」「この企業ももうかっているわ。」

(注)資料の最高株価約3,000円で100単位購入したと考えている。

あなた 「そうだよ。だから、我々は自衛しなければならないんだよ。」

あなた 「あ！そうだ、お母さん。証券会社に行ったら、割高、割安という言葉聞くので、これについて教えておくれよ。」「この＜資料＞では、株価収益率（PER）がこれに関わるよ。株価収益率は株価を③（ア. 1株当たり配当額 イ. 1株当たり当期純利益 ウ. 売上高 エ. 資本金）で割った値で、倍数が高いほど a.（ア. 割高 イ. 割安）といわれるんだよ。この判断には、市場全体の指標か、同業他社の指標との比較が必要になるけどね。」「そう言えば、お母さん、簿記をやっていたとか言っていなかった？ 会計をやっている人に理解し易いのが、株価純資産倍率（PBR）だよ。これを、第○3期の最低株価で計算すると、（④）倍になるね。会計で計算した（企業）価値より市場の評価が高いので b.（ア. 割高 イ. 割安）と言われるよ。これも市場全体の指標か同業他社の指標との比較も必要になるけどね。」

お母さん 「簿記をやっていたと言ったら、恥ずかしいわね。私は、ただ検定をやっただけで、財務諸表の見方はやっていないもの。いま、教えてもらって、計算をやったにすぎないことが分かったわ。」「そう言えば、この企業、売上高や経常利益が順調に伸びているのに、当期純利益が当期は下がっているわね。原因は、何かしら。」

あなた 「うーん。なんでだろう？」

お母さん 「ああ分かった。特別損失よ。例えば、災害損失はもちろんけど企業の構造改革など企業の通常の活動と関係のない損失があったからよ。簿記の勉強をしていたから分かったわ。」

あなた （独り言）「会計学の勉強、もっと進めなければならないなあ……。」

